



岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年7月8日（火） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
感染症対策推進課	感染症対策係	酢谷	内線 3352 直通 058-272-8453 FAX 058-278-3550

県内初の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生について

令和7年7月7日（月）、県内の医療機関から東濃保健所に、重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome）（以下「SFTS」という。）の発生届が提出されました。岐阜県内でSFTS患者の発生が報告されたのは今回が初となります。

SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。春から秋にかけては、マダニの活動が盛んとなり、咬まれる危険性が高まるため、特に注意が必要です。

草むらや藪などに入る場合は、肌の露出を少なくし、虫除け剤を使用するなどして、マダニに咬まれないようにしましょう。

1 患者の概要

- （1）患者：60歳代女性（中津川市在住）
- （2）主な症状：発熱、腹痛、下痢、嘔吐、血小板減少
- （3）現在の状況：快方に向かっている
- （4）推定感染経路：マダニによる刺咬
- （5）経過：6月26日（木）自宅周辺の草刈り作業後、マダニに咬まれたことに気付いた
6月30日（月）発熱、腹痛、下痢
7月5日（土）県内医療機関を受診、入院
7月7日（月）県保健環境研究所による検査の結果、SFTS陽性と判明

感染者及び家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から特段の御配慮をお願いします。

2 SFTSについて

（1）病原体及び症状等

フェヌイウイルス科バンダウイルス属のSFTSウイルスによる感染症です。

主な症状は発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）であり、ときに、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。

血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素の上昇が認められます。

致死率は約10～30%程度です。

感染経路は、ウイルスを保有するマダニの刺咬による感染が中心ですが、近年、SFTSウイルスに感染したペット等の動物から人への感染も報告されています。

(2) 全国での SFTS 発生状況

年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
人数 (人)	7 5	1 1 1	1 1 6	1 3 4	1 2 0	8 0 (※)

※令和 7 年 6 月 2 2 日時点の速報値

3 予防方法

(1) マダニに咬まれないために

- ・マダニは、主に森林や草地に生息していますが、郊外、市街地でも生息しています。草むらや藪などに入る場合は、肌の露出が少なくなるようにしましょう（帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等）。
- ・長袖、長ズボン、登山用スパッツ等を着用し、シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れてみましょう。
- ・サンダル等は避け、足を完全に覆う靴を履きましょう。
- ・マダニが目視で確認しやすいため、明るい色の服を着ましょう。
- ・肌の露出部分にディート、イカリジンなどの有効成分が含まれた虫除け剤を使用しましょう（取扱説明書に沿って使用してください。）。
- ・屋外活動後は、上着や作業着は家の中に持ち込まないようにし、すぐに入浴してマダニに咬まれていないか確認しましょう。

(2) マダニに咬まれた場合

- ・マダニに咬まれているのを見つけたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置をしてもらいましょう。
- ・マダニに咬まれた後、数週間は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。その際、マダニに咬まれたことを医師に説明してください。

(3) 動物からの SFTS 感染を防ぐために

- ・動物を飼育している場合、過剰なふれあい（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝たりすることなど）は控えてください。
- ・動物に触ったら必ず手を洗いましょう。また、動物に付着したマダニは動物病院で適切に駆除してもらいましょう。
- ・飼育している動物の健康状態の変化に注意し、動物が体調不良の際には、マスク、手袋などを着用し、咬まれたり舐められたりしないように注意したうえで、動物病院で診てもらって下さい。ペットがマダニに刺されないようノミダニ予防薬も有効ですので獣医師に相談しましょう。
- ・野生動物は、どのような病原体を保有しているか分かりません。野生動物との接触は避けてください。